

【発行元】

株式会社豊工務店
〒862-0914
熊本県熊本市東区山ノ内1-3-1
TEL : 096-365-6503
FAX : 096-367-3332

梅雨の前に備える！工場・倉庫の雨漏り・防水対策のすすめ

このようなお困りごとありませんか？

- ☑ 「毎年雨漏りして、困っている・・・」
- ☑ 「雨漏りがどこからしているか、わからない・・・」
- ☑ 「雨漏りを直しても、すぐ違う場所から雨漏りする・・・」



―― 早期の「予防保全」が、建物の寿命と資産価値を守る

工場や倉庫において、雨漏りは単なる浸水被害に留まりません。精密機械の故障、在庫商品の損傷、さらには漏電による火災リスクなど、事業継続を脅かす重大なトラブルに直結します。本格的な長雨が続く梅雨の前に、5月のうちに実施すべき防水対策の要点を解説します。

1. 屋根・外壁の「弱点」を早期に塞ぐ

工場・倉庫に多い折板（せっぱん）屋根やスレート壁は、経年劣化によるわずかな隙間が命取りになります。

① 折板屋根の接合部とボルトの腐食対策：

雨漏りの原因の多くは、屋根材の継ぎ目や固定ボルトの腐食・緩みにあります。これらを保護するキャップの交換や、防水シート・コーティングによる補強を行うことで、浸水経路を物理的に遮断します。

② 外壁のクラック（ひび割れ）とシール打ち替え：

コンクリートやパネルのひび割れ、窓枠まわりのシーリング材の劣化は、壁面からの浸水を招きます。早期に打ち替えや補修を行うことで、建物内部への「雨水の通り道」を作らせないことが重要です！

2. 「排水インフラ」の徹底清掃と点検

屋根自体に穴がなくても、排水が追いつかないことで発生する「オーバーフロー」による雨漏りが増えています。

① 谷樋（たにどい）の清掃とドレンの詰まり解消：

屋根の谷間に設置された排水溝（谷樋）に土砂や落ち葉が溜まると、集中豪雨時に水が溢れ、屋根の重なり目から逆流します。梅雨入り前に徹底した清掃を行い、スムーズな排水経路を確保することが、浸水事故を防ぐ最も効果的な対策です。

② 排水能力の再評価：

近年の「線状降水帯」などによる記録的な豪雨に備え、現在の排水管の径や数が十分であるかを再確認します。必要に応じてオーバーフロー管の増設を検討するなど、想定外の降雨量に耐えうる設計へのアップデートが推奨されます。

まとめ：

雨漏り対策の本質は、不具合が起きてから直す「事後修理」ではなく、被害を未然に防ぐ「予防」にあります。本格的な長雨が始まる前に、屋根や排水経路の死角をなくす適切なメンテナンスを行う。この一歩が、大切な設備や在庫を守り、建物の資産価値を長期にわたって維持するための最も効果的な投資となります。

貴社の現場に最適な「雨漏り・防水対策」は、ぜひプロにご相談ください。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「メガキューバー」

（お問合せ窓口：原口）

TEL：096-365-6503 FAX：096-367-3332

〒862-0914 熊本県熊本市東区山ノ内1丁目3番1号

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
096-367-3332迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで